



2018年8月27日

アウディ、鈴鹿 10 時間耐久レースで表彰台を獲得

- インターコンチネンタル GT チャレンジの日本ラウンドで、クリストファー ハーゼ /ケルビン ファン デル リンデ/マルクス ヴィンケルホック組が 3 位表彰台を獲得
- 4 台の Audi R8 LMS がトップ 10 フィニッシュ
- 非常に過酷なコンディションの中、Audi Sport customer racing team の 5 台全てが完走を果たす

2018年8月26日、鈴鹿/ノイブルク アン デア ドナウ：Audi R8 LMS は、2 月に開催されたインターコンチネンタル GT チャレンジ初戦のバサースト（オーストラリア）、6 月に開催されたスパ（ベルギー）での優勝（25 ポイント）に続き、鈴鹿でも 3 位でチェッカーを受けました。3 人の Audi Sport ドライバー（クリストファー ハーゼ/ケルビン ファン デル リンデ/マルクス ヴィンケルホック）を擁する Audi Sport Team Absolute Racing が 3 位表彰台を獲得しました。

30℃を超える気温の中で行われた SUZUKA 10 HOURS（鈴鹿 10 時間耐久レース）は、ドライバーにとっても、マシンにとっても過酷なレースになりました。攻略が難しいことで知られる鈴鹿サーキットで初めて開催されたインターコンチネンタル GT チャレンジは、レースファンとドライバーにとってスリリングな展開となりました。予選 11 番手からスタートしたハーゼ/ファン デル リンデ/ヴィンケルホックのトリオによる Audi R8 LMS は、途中でドライブスルー ペナルティを受けながらも、3 番手までポジションを上げました。チェッカーフラッグを受けた時点で、2 位との差はわずか 1.2 秒でした。ドライバーズランキングで、ハーゼとヴィンケルホックは、このレースで優勝した 3 人のドライバーに次ぐ順位となっています。マニファクチャラーズ部門では、アウディは 2 位にランキングされています。Audi Sport customer racing 責任者のクリス ラインケは、次のようにコメントしています。「このレースで 1-2 フィニッシュを飾った Mercedes-AMG と、Audi Sport Team Absolute Racing の 3 人のドライバーを祝福したいと思います。厳しいレースとなりました。非常に暑いコンディションの中、またアクシデントが多発した中で、Audi Sport の全チームが冷静さを保って完走できたことは、注目に値します」

クリストファー ミース/ドリス ヴァンスール/フレデリック フェルヴィツヒ組の Audi Sport Team WRT の 66 号車は、Audi Sport Team Absolute Racing に続き 4 位でチェッカーフラッグを受けました。これによって、アウディは、マニファクチャラーズ ランキングで貴重な 12 ポイントを獲得しました。日本の Super GT シリーズ全戦に参戦している Audi Team Hitotsuyama は、2 人のレギュラードライバー、リチャード ライアンと富田 竜一郎に加え、今回の鈴鹿ではベルギー人ドライバー アレッシオ ピカリエロを起用してチームを強化しました。最初の 1 時間は、Audi Team Hitotsuyama の 21 号車がアウディ勢のトップを走行していましたが、痛恨のスピンによって順位を下げてしまいました。その後、着実にポジションを取り戻し、最終的には予選を上回る 8 位でフィニッシュしました。さらに、Audi Sport Team WRT から参戦したもう 1 台のジェイク デニース/シェルドン ファン デル リンデ/スチュアート レオナルド組の Audi R8 LMS も 9 位でフィニッシュラインを通過しました。また、11 チームが参戦した Pro-Am クラスの Audi R8 LMS も、コンファー チェン/アダレイ フォン/ジンジュウ サン組が完走を果たし、クラス 6 位となりました。

インターコンチネンタル GT チャレンジ最終戦は、10 月 26 日～28 日、カリフォルニアの伝説的なサーキット ラグナセカで開催。Audi Sport のチームは、ドライバー及びマニファクチャラーズ タイトルを

懸けて決戦に挑みます。アウディは、シリーズが初開催された 2016 年と昨年 2017 年に、ドライバー及びマニュファクチャラーズの両方のタイトルを獲得しています。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。